

1年を通して定期的に活動しています。

今後も継続して活動していきますので引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

朗読ボランティア・読み聞かせ



アナウンサーの経歴を活かして、夫と二人で取り組んでいる「めもと朗読」も6年目。地元の小学校等で読み聞かせをしています。

防災訓練・消防団活動



区議としてまた、消防団員として地域の皆さんの安全・安心を守ります！

清掃活動



毎月第一日曜には烏山駅前通り商店街。第三日曜には八幡山での清掃活動に取り組んでいます。

若者支援



議員になる前から力を入れて取り組んでいる若者支援。就職活動に重要なビジネスマナーの指導や相談も承っています。

編集後記

私が活動している地域の元気印！
高橋久一さん 92歳。

時々、お邪魔させていただきますが、この日も「焼夷弾（しょういだん）が落ちてくる音を今でも思い出す」と東京大空襲の戦争体験



を語ってくれました。また、測量をされていたお父様から譲り受けたという地図で地域の今昔を聞かせてくれました。悲惨な戦争を二度と繰り返してはいけないこと、現在の平和の幸せがあることを私も伝え継いでいこうと思います。

プロフィール

アナウンサー・NHKキャスターを経てフリーアナウンサーに。官公庁・民間企業・大学等で講師として多数登壇。キャリアカウンセラーとしても活動。2008年株式会社コミュニ（人材育成会社）を設立、代表取締役。2015年「女性の目線から、もっと住みやすい街にしたい」と一念発起し世田谷区議会議員選挙において、公募での自民党公認をいただき出馬。常に笑顔忘れず地道に謙虚に取り組むことをモットーに現在2期目。自民党区議団では唯一の女性議員として、今日も果敢に取り組んでいる。成城消防団第3分団員。

《委員》文教常任委員会副委員長、子ども・子育て会議委員、災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会委員

《資格》国家資格キャリアコンサルタント、NLPトレーナー、中学・高等学校教員免許

皆さまの声を
お聞かせください

石川ナオミ事務所

〒156-0056 東京都世田谷区八幡山 3-23-26

TEL & FAX : 03-5942-1285

Eメール : info@naomi-ishikawa.com

<https://www.facebook.com/naoishikawa>

石川ナオミ

検索



ホームページ : www.naomi-ishikawa.com

公式ホームページ

世田谷区民のアナウンサー！

世田谷区議会議員 石川ナオミ

討議資料

“ナオミチャンネル”

2020年を振り返って



今年も残りわずか。

この1年は、これまでとは全く異なる1年となりました。

1月に国内初の新型コロナウイルスの感染者が確認され、

マスクが店頭から無くなり、3月には一斉休校、

4月からは緊急事態宣言が発令され、区民の皆さんも

外出自粛の日々をお過ごしになったかと思います。

このような未曾有の事態の中、区民の皆さんの

安全な生活を第一に、中長期的にも経済基盤が

失われることがないように、事業継続支援なども

積極的に行政側に働きかけて参りました。

まだまだ、油断はできない状況です。

最前線で関わって下さっている医療従事者の皆さま、

関係者の皆さまに感謝と敬意を表し、

引き続き、私も気を引き締めて参ります。

そして区民の皆さまの命と健康、安心して暮らせる日々が

守られますよう全力で取り組んで参ります。

コロナ禍であっても変わらず活動をお支え下さり、

今年もお世話になった皆さまに感謝の気持ちを込めて

「ナオミチャンネル」をお届けいたします。

石川ナオミ
区政報告
2020年 冬号
第010号

令和2年第3回区議会定例会で代表質問担当

本年9月15日の本会議で自民党区議団の代表質問を担当しました。コロナ感染拡大による区としての対策や高齢者、子育て世代の方々への支援体制の強化など区民の皆さんの安心・安全な暮らしが守られるよう（壇上で40分間）強く訴えました。その一部を要約してお伝えします。なお、質問、答弁は簡潔な表現にしております。ご了承下さいませ。



マウスシールドを着けて登壇しました

詳細は で検索を!!

社会的検査の実施目的の明確化

質問 介護従事者などへの網羅的なPCR検査「社会的検査」を民主的な政策形成を経ず強行する区長の姿勢は問題である。検査目的や得られる効果などを明確に。

区長答弁 施設利用者の重症化防止や現場の集団感染抑止のためである。

恒久的な歳出削減に向けた方策

質問 我々の提言を受け区が進める「施策事業の本質的な見直し」は施策の優先順位を整理できる有効な方策だ。責任を持って精査に努め恒久的な歳出削減につなげることは可能か。

区長答弁 事業の縮減廃止などにより恒久的な歳出削減を実現していく。

区内経済活性化に向けた早期対策

質問 新型コロナにより生活の見通しが立たない区民が大勢いる。経済活動の早期正常化に向け、区内事業者への発注機会を増やすなど区が全力で事業活動の支援を。

財務部長答弁 今年度後半に臨時入札などによる前倒し発注を検討する。

豪雨時の多様な避難方法の周知

質問 コロナ禍では豪雨時に避難所に行くのをためらうことも想定される。区民が判断に迷わず命を守る行動を取れるよう、多様な避難方法について幅広く周知するべきと考えるが見解を伺う。

副区長答弁 迅速かつ円滑に命を守る行動が取れるよう周知を徹底する。

せたがやパイ発行への期待

質問 区内共通商品券を電子化した仮称せたがやパイは利便性の高い二次元コード方式のため利用者拡大が期待される。区内経済への効果を検証し、継続発行につなげ個店支援はどのように行うのか。さらなる個店への支援体制の強化を。

副区長答弁 利用状況分析での効果検証など今後の必要性を判断し更なる個店支援も行う。

道路整備と地籍調査の着実な推進

質問 コロナショックによる厳しい財政状況でも災害復興に重要な道路などのインフラ整備や地籍調査は未来に必要な投資だ。着実に推進できる相応な予算を投入を。

副区長答弁 国庫補助などの確保に努め、計画的かつ着実に進める。

特定生産緑地制度の周知徹底

質問 多くの生産緑地指定が解除される 2022 年が迫る中、指定を 10 年延長できる特定生産緑地制度の周知が重要である。2021 年 12 月の申請期限までの具体的な周知方法は。

都市整備政策部長答弁 更なる制度の周知、説明会や個別訪問の機会を設ける。

3年度予算編成に向けた財源確保

質問 3 年度予算編成はリーマンショック時を上回る減収で極めて厳しくなる見込みだ。例年以上に、国や都からの補助金獲得に注力するなど一層の財源確保に努めることを求める。

副区長答弁 国や都の動向を見逃さず、あらゆる手段で財源確保に努める。

オンラインによる教育機会の確保

質問 様々な事情で登校できない児童生徒への教育機会を増やすことが必要だ。不登校や医療的ケアが必要な子、入院中の子など個々に応じて支援できるオンライン授業の活用を進めるべき。

教育政策部長答弁 より広い学びの選択肢を提供できるよう取り組む。

子育て世代への全庁的な支援策

質問 区長部局と教育委員会が連携し子育て世代の親を支援すべきだ。家庭教育と子育て支援の軸となる総合的な条例を制定するなど、一元的な支援施策の推進を。

子ども・若者部長答弁 親の学びの機会確保に教育委員会と連携して進める。



コロナ禍での介護予防策の推進

質問 区の要介護認定者は 4 年間で約 2200 人も増加している。コロナ禍で外出を控え体力や認知機能の低下が懸念される今、孤立しやすい高齢者への介護予防策は。

高齢福祉部長答弁 ICT 活用など自宅で取り組む介護予防策を進める。



障害者への積極的な就労支援

質問 コロナ禍で障害者の雇用環境は極めて厳しい。短時間就労など多様な働き方を支援する「せた JOB 応援プロジェクト」を発展させてどのように雇用確保をするか。

障害福祉部長答弁 本プロジェクトの協力企業を開拓し雇用促進を図る。

こんな時、どこに言えばいいの？

今年コロナ禍ではありますが、皆さまのお困りごとにもすぐに対応させていただきます。

一部ご紹介します。

『私道の問題を解決したい』

ある不動産会社と地域の方が 2 年間かかっていた私道をめぐる問題。ご相談をいただいてからすぐに相手側（不動産会社）に何度も向かい地域の方々との対話も重ねさせていただきました。住民説明会もコーディネートして開催。ボタンの掛け違いから 2 年もかかってしまった案件、ご相談頂いてから、約 2ヶ月の短時間両者納得のもと（金銭的な解決ではなく）平和的な解決に繋げる事が出来ました。私道の問題は非常に難しいと言われていますが、解決の糸口は必ずあります。誠心誠意、丁寧な対応を心がけています。

私道の会が発足。看板設置もできました。「これで安心しました」と地域の皆さんにも喜んでいただきました。（2020年10月）

街路樹の葉が電線にかかり危険！

地域から剪定希望がありました。早速、区に依頼をし剪定。「枯れ葉の清掃もラクになりました」と喜んでくれました。（八幡山）

剪定前

剪定後

小学校の通学路。地域からご相談をいただき警察につなげて見守りをさせていただくことに。（上北沢）

おまかせ下さい!!

このような声に対応させていただき各所で実現しました。スピーディーに行政につなぎます。✉ info@naomi-ishikawa.com